

2005年9月6日

世界各地の大学生が愛知万博とともに国際問題について協議し合う 「模擬国連会議 in EXPO 2005」カナダ政府パビリオンで開催

模擬国連委員会
マニユライフ生命保険株式会社

来たる9月14日(水)~9月16日(金) 好評開催中の「愛・地球博」カナダ政府パビリオン2階のマニユライフVIPラウンジ内特設会場に30人以上の世界各国の大学生が参加し、国際連合を模した国際会議を行なうイベント「模擬国連会議 in EXPO 2005」が、模擬国連委員会(模擬国連会議 in EXPO 2005 実行委員長 武田さくら)主催、マニユライフ生命保険株式会社(社長兼CEO ジェフ・クリックメイ)特別協賛により開催されます。

模擬国連は、国連総会等の国際会議を模して、学生が各国大使の役割を演じ、様々な課題について討議を行うユニークな活動です。今回は「愛・地球博」に因んで世界13カ国から集まった大学生が、国連会議の形式に則り、「持続可能な開発^{注1}、ミレニアム開発目標^{注2}の達成に向けて」という大テーマに沿って、地球と共生しながら生きていくためにどのように問題を解決すべきかについて真剣に討論します。

3日間におよぶ会議、国際外交のロールプレイで構成されるイベントの目的は、次世代を担う世界各国の大学生自身が国連活動の意義や国際問題に関する見識を深め、参加者相互の理解を深めることにあります。加えて、総合的なリサーチ能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につける効果も期待されています。

多様性の叡智をテーマに掲げるカナダ政府パビリオン協賛企業であり、カナダ系生命保険会社として日本で積極的に事業展開中のマニユライフ生命保険株式会社としても、「模擬国連会議 in EXPO 2005」の趣旨に賛同し、特別協賛企業として今回の開催をサポートしています。

「模擬国連会議 in EXPO 2005」の概要

日時(予定)

9月14日(水) 開会式: 9:00-10:30、会議: 11:00-20:30 (昼食休憩 12:30-13:30)

9月15日(木) 会議: 10:00-20:30 (昼食休憩 12:30-13:30)

9月16日(金) レビュー: 9:00-13:00、昼食・まとめ: 13:00-14:00、閉会式: 14:00-15:00

ご取材について

会議は原則として英語で行われますが、いずれの時間帯もご取材可能です。なお、14日、15日の両日は9:00-17:00、16日は9:00-15:00の時間帯につきましては日英通訳を手配してありますのでご希望に応じてご利用頂けます。

会場

愛知万博カナダ政府パビリオン2階「マニユライフ生命VIPラウンジ」

参加者

日本国内各地の大学生男女17名と各国からの在日留学生14名(予定)

主催

模擬国連委員会

特別協賛

マニユライフ生命保険株式会社

後援

外務省、国連広報センター、文部科学省

模擬国連について

「模擬国連」とは、参加者一人一人が世界各国の大使となり、実際の国連会議で扱われている問題を話し合うことによって、国連会議を再現し、国際問題の難しさを理解すると共に、問題の解決策を探ろうとするディベートです。

参加者はまず自分の担当国を選び、担当する国が決まり次第、「参加する会議で扱う問題」、「国連における今までの審議の成果とその課題」、「担当する国の過去の政策」といった点について多角的な調査・研究を行い、自国の政策を立案します。そして、会議では、演説や他国との交渉を通じて、会議の意思決定の下地となる決議案を作成していきます。最終的には、担当する国の国益を追求しつつも、国際社会にとっても有益かつ実効的な解決策・対策を盛り込んだ決議案を投票にかけ、決議として採択します。

このような一連の過程を通じて、参加者は話し合う問題や担当する国の政策についての理解を深めると共に、国連を舞台とした国際政治の力学、可能性と限界を実感することができます。また、多国間外交や現代の国際関係を体験的に学習することによって、現代の複雑な国際政治の仕組みを理解することができ、またそのような複雑な国際政治を通して問題の解決策・対策を探ることによって、これからの国際社会に必要とされる人材の育成にも大きく寄与することになります。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています（2005年8月現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェンต์および販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2005年6月30日現在3,640億カナダドル（2,970億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）

カナダ政府パビリオンについて

「愛・地球博」のカナダ政府パビリオンは多様性の叡智をテーマとしています。パビリオン内のプレゼンテーションでは、6人のカナダ人が、カナダ人特有の考え方を表現しており、パビリオンには3月25日の開幕以来、1日あたり平均約17,000人（万博入場者数の約18%）が訪れています。

36人のカナダ人スタッフが、日本語・英語の2カ国語で来訪者を迎えています。来訪者の写真は、カナダ政府パビリオン公式ホームページにも掲載されています。詳しくは <http://www.expo2005canada.gc.ca> をご覧ください。

注1 持続可能な開発...世界中の人々が安心して暮らすことのできる社会をつくるため、社会的公正の実現や自然環境との共生を重視した新しい「開発」のあり方が求められています。これを「持続可能な開発」といいます。

注2 ミレニアム開発目標...2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した加盟国は、21世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択しました。このミレニアム宣言は、貧困および飢餓の撲滅、乳幼児死亡率の削減、環境の持続可能性確保等を課題として掲げ、21世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示しました。そして、国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものがミレニアム開発目標（Millennium Development Goals：MDGs）です。実際の国連会議でも、2005年9月に各国代表が集いミレニアム開発目標の進捗を見直すことから、このテーマを設定いたしました。